

平成 30 年度第 1 回ふれあい座談会

主催	ふじみ野健康麻将クラブ
テーマ	高齢者の孤立防止、健康寿命維持（近未来問題対応）
日時	平成 30 年 6 月 28 日（木）午後 1 時 30 分～3 時
場所	市民交流プラザ（フクトピア）
参加者	16 名
市出席者	市長、高齢福祉課長、保健センター所長、広報広聴課長、広報広聴課主事

《主な意見等》

広報広聴課長　　まず、高畑市長よりご挨拶を申し上げます。

市長　　ふじみ野健康麻将クラブの皆さんとのふれあい座談会ということで今日はこのような場を設けていただき、ありがとうございます。私は市民が主役のまちづくりを目指し、就任当初からタウンミーティングを実施しています。一人でも多くの皆さんと直接お話したいという思いでやっています。ふれあい座談会もさまざまな団体さんと開催させていただいています。

ふじみ野健康麻将クラブは設立当初、私が市議会議員だったころに接点があり、とても懐かしい思いを感じています。いつまでも健康であるために、どのようにみんなで介護予防をしていくかが重要です。行政だけの力では限界がありますので、ふじみ野健康麻将クラブを始めとする皆さんのお力をお借りしながら進めていきたいと思えます。今日は限られた時間ではありますが、忌憚のないご意見をいただければと思います。よろしく願いいたします。

広報広聴課長　　次にふじみ野健康麻将クラブの会長さんよりご挨拶をいただきたいと思えます。

ふじみ野健康麻将クラブ会長　　本日はこのような機会をいただきありがとうございます。私たちは今年で活動 11 年目を迎え、200 人の会員がおります。平成 22 年から大井総合福祉センター主催の講座が始まり、好評いただいております。超高齢化社会を迎える中でクラブでは、2 つの課題をあげて積極的に活動しています。

1 つめは高齢者の憩いの場として、健康で長生きするということに貢献するという事です。人と人との対話がないと認知症にかかりやすいです。くだらない話でも効果があります。待ち遠しくてスキップしてくる人が多く大変うれしく思っています。対話を大事に認知症防止に努め

ていきたいです。

2つめは介護施設の訪問です。道具を持参し施設で出張教室を開いており、好評いただいています。

このように活動していますが、会場の確保で問題を抱えています。200人の会員がおりますので、広い会場じゃないと開催できません。思うように会場が確保できていないのが現状です。現在、大井総合福祉センター、フクトピア、鶴ヶ岡コミュニティセンターを利用しています。行政にご尽力いただき、月1回でもいいので広い場所を貸してほしいです。

広報広聴課長　それでは、これより会の進行はふじみ野健康麻将クラブにお任せしたいと思います。

司会（ふじみ野健康麻将クラブ）　まず、私たち健康麻将クラブの会員を紹介したいと思います。

※会長を始め、各会員が自己紹介。

市長　ありがとうございます。

では、こちら側も自己紹介をさせていただきます。

※高齢福祉課長、保健センター所長の自己紹介。

司会　それでは、行政の方の高齢者の孤立防止・健康維持に関する施策を紹介いただければと思います。

※高齢福祉課長、保健センター所長の説明。

司会　続いて私たち健康麻将クラブの活動をもう少し細かく紹介させていただきます。

※健康麻将クラブの説明。

司会　それでは、これより懇談に入らせていただきます。

市長　先ほど、参加費のお話がありました。サークル部の参加費というのはゲームに参加する時の参加費でしょうか。また、教室部に参加費はありますか。

参加者　サークル部はそうです。1回400円です。また、教室部にも参加費があります。1日500円、半日で300円です。資料代などとしていただいています。

市長　決算報告の年会費1,200円×56人とはどういう意味でしょうか。

参加者 サークル部の年会費で年 1 回 1,200 円をいただいています。会員 200 人というのは教室部とサークル部併せての数字です。

市長 わかりました。ありがとうございます。ご説明にあったポイントをためてもらえる参加費無料券の制度は大変いい制度だと思いました。

参加者 参加すれば 1 日 1 ポイントですので、3 カ月間、毎回出席すれば 1 枚無料券がもらえる計算です。また、飛び賞とって 5 位、10 位、15 位などの人に 5 ポイント差し上げています。ですので、マージャンがうまくなくてもポイントをもらえる仕組みになっています。

市長 話を聞いていて昔の思い出がよみがえってきました。これだけクラブが発展したと聞いて創設期を知る私としては大変うれしいです。

また、鶴ヶ岡コミュニティセンターなど場所の話が出ました。地域を考慮して、開催場所を回しているのですか。

参加者 そうです。会場までの距離が参加者に平等になるようにしています。しかし、なかなか広い場所が確保できません。

市長 スペースの問題もありますが、使用料金の問題もありますよね。会場によって使用料が違います。そのあたりはいかがですか。

参加者 お金がかかっても広い場所を取りたいと思います。

市長 ありがたいお言葉です。先ほど持続可能なまちにしたいと申しあげました。公民館には減免制度があるためほとんどの人が減免です。公共施設全体の維持費が 11 億円を超えていて、極端な話をすればこの中には公共施設を利用しない人の税金も含まれています。

1 部屋何百円という料金でも減免というものはなくしていかなければいけません。利用料を払ったとしてもその額を参加者数で割れば参加者 1 人あたりの負担はわずかな額になります。受益者負担を少しずつ行っていかなければいけません。

今、スポーツ施設を改修していて、次は文化施設を改修していきます。改修を機に減免制度をなくしていきたいです。子どもたちが大きくなったとき今より人口が少なくなり、その中で公共施設を維持していかなければいけなくなります。そのために今から変えていかなければいけません。まち全体で支えあうことが必要です。

健康麻将クラブの会場の問題につきまして、さまざまな団体がある中で特別扱いするわけにはいきません。現在、放課後児童クラブなどさま

ざまな事業を民間の企業や団体に委ねています。ですので、例えば保健センターの事業の位置づけの中で健康麻将クラブの力をお借りするのも策ではないかと考えています。単なる場所の提供ではなく、市役所とそちらの団体がタイアップしていくような仕組みを考えていければと思います。また、団体ではなく介護予防のための活動をしている人に一定の時間フロアを提供するとうのも取りうる方法の一つだと思います。

参加者 ぜひ、方策を考えてほしいです。サークル部のメンバーには遠隔地に住むお子さんに「一人暮らし心配だから、お母さん一緒に住もうよ」と言われても、サークルが生きがいでそのためにふじみ野市に残っている人もいて、これだけが楽しみという人もいます。

参加者 介護の施策として健康寿命を延ばすという策と介護が必要になった後の支援を厚くするという二つの方法があると思います。後者に関しては、大分充実してきたように思います。ぜひ、前者の施策に力を入れてもらえればと思います。健康寿命を延ばすためには機会提供が大事です。これから組み入れて頂ければと思います。

参加者 健康寿命を伸ばすための枠組みについて弾力性をもって、有料で大丈夫ですがそのような取り組みをしている団体が使える場所を増やしてほしいです。

市長 やはり、全体的にフロアが足りません。一般的にリタイア後の人の加入などで健康麻将クラブだけでなく、各サークルのメンバーが増えています。市内の公共施設だけではとても場所が足りません。フクトピアなどでは空いている時間に市外の方が利用されている場合もあります。ふじみ野市の方も市外の施設を使うことがあるので、市外の方はご遠慮いただくとは言えませんが、少し差別化をしていかないといけないと思います。また、予約システムにも少し問題があります。一つの団体が予備日などの確保の関係で複数の日を抑えてしまい実際の開催日が決まっても他の日をキャンセルしないケースがあります。

参加者 キャンセル料はとらないんですか。

市長 公民館などで、減免の場合もともと使用料がかからないためキャンセル料はとりません。

参加者 そのような場合はペナルティーを科せばいいと思います。以前、住んでいた市はそうでした。

市長　それも一つの案だと思います。少しでもお金がかかるのであればキャンセルします。しかし、お金がかからずキャンセルしないため他の団体に迷惑がかかってしまっています。

参加者　減免ではなく有償にして、お金を払ってもいいから場所を使いたいという団体に使いやすいようにしてほしいと思います。

参加者　フクトピアの多目的ホールが一番利用しやすいです。鶴ヶ岡コミュニティセンターゲームは参加者の人数的な面で狭いです。

市長　鶴ヶ岡コミュニティセンターは1階を利用しているのですか

参加者　2階です。2面とれればいいですが、他方とられてるとダメです。市長がおっしゃったように今後駐車場ができるそうですが、駐車場があっても場所が狭いので難しいです。

市長　霞ヶ丘団地の集会所も利用されていますか。

参加者　出前教室で使っています。

市長　あの場所は広いですね。

参加者　使っているのは狭い部屋です。3卓ほどおくといっぱいです。

市長　広い部屋はとれないのですか。

参加者　出前教室は場所を選ばず、相手方が用意しているのがその部屋です。

市長　サークルを開催するときにあの集会所は有料で借りられますので、借りるという手はないですか。

参加者　それはありだと思えますが、駐車場がないのが問題です。

市長　そこで、もう一案ですが上野台団地の集会所を利用するのはいかがでしょうか。有料ですが、比較的近い市役所の駐車場が利用できます。

参加者　上野台団地の集会所は利用可能なのでしょうか。

市長　利用のためのルールはわかりませんが、会員の中に上野台の方がい

ればその方を通して、空いている時間があれば利用できるようお願いするというのも一つの手だと思います。

参加者 そうですね。収入にもなりますしあちらにとっても悪い話ではないと思います。

市長 こちらからも上野台自治会に話してみたいと思います。

参加者 市の施設で空いている会議室はないのでしょうか。

市長 長時間押さえられると難しいです。また、健康麻将クラブだけにお貸しするというのはできません。職員も予約して使っています。いろいろな会議などで抑えられているので難しいです。

参加者 あくまで空いていればという話ですので、有効に利用されているのであれば大丈夫です。

市長 サークルに車でいらっしゃる方は多いのでしょうか。

参加者 はい、多いです。

市長 では、近くに車が止められないといけませんね。

場合によっては学校を使う手はあるかもしれません。集会室などがあります。今、市では地域協働学校を推進しています。地域で子どもたちを育てていこうという趣旨です。土曜日か日曜日学校で健康づくりをしている高齢者の方々の姿を子どもたちに見せるのも場合によってはその取り組みの一つとして有効かもしれません。

参加者 空き家対策の一環として、民家ではなく店舗風の空き家を有効活用して行く手はないのでしょうか

市長 会場確保が一番の課題ですね。介護予防の施策展開の中で皆さんとどのようにリンクできるかが課題です。

空き家対策のお話もありました。空き家をサロンの形で運営していくことも可能かもしれません。何らかの手段を考えていきたいです。あとは、会の運営方法の問題になってしまうかもしれませんが、町内会の集会所等を使って会場を分けてやるのも一案だと思います。

参加者 高齢者が自由に立ち寄れる場所があってもいいと思います。

市長 話変わりますが、会場として大井総合支所 2 階のゆめぼるとはいかがでしょうか。有料ですが借りられます。

参加者 あそこはまだ行ってません。少し利用料が高いという話も聞きましたが、何万というわけではないので、使えないわけではないですね。

参加者 うれし野まちづくり会館の地下に荷物が置いてあります。有料でいいので、あの片隅にマージャンの道具を置いていただくことはできないでしょうか。今はトランクルームに置いています。

市長 他の団体との兼ね合いで少し難しいかもしれません。

司会 大変申し訳ございませんが時間の関係もございますので、このあたりで終了とさせていただきたいと思います。

市長 最後に一言申し上げます。課題はさまざまあるかもしれませんが何か仕組みを工夫すれば健康麻将クラブと行政がうまくタイアップしていけると思います。また会場の問題につきましても、箱物を作っていくわけにはいきませんが、何らかの方策を検討していきたいと思います。今日は皆さんにお会いできて本当に良かったです。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

